

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局： TBS	番組名：報道特集	放送日：2020年2月29日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙 遊佐勝美（TBS 政治部長）、小嶋修一（TBS 解説委員）		
検証テーマ： オープニング、鈴木知事が安倍首相に直接要望、トランプ政権の入国制限 【特集】 新型コロナ		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急事態宣言から初めての週末の北海道 ・ ディズニーランドの休園 ・ 原爆資料館の臨時休館 ・ オープニング ・ 宮城高知新潟の各県で感染確認 ・ 大阪のライブハウスでクラスターの疑い ・ 岩手の病院職員がマスクを転売 ・ 一斉休校できょう突然の終業式 ・ 鈴木知事が安倍首相に直接要望 ・ トランプ政権の入国制限 ・ 息子を装い 100 万円の詐欺未遂 ・ 警察官姿でゴルフ用品店から 70 万円を強盗 ・ 【特集】 新型コロナ ・ スポーツ報道 		
放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・ オープニング：結論→特に問題なし 番組の冒頭で金平キャスターが「安倍首相が唐突にコロナウィルス対策として全国の小中高校の一斉休校を要請しました、戦後 75 年の歴史で初めてのことです。このあと安倍首相の記者会見があります、国民は国家の奴隷ではないので、首相の説明が納得できるかどうかをしっかりと判断しましょう、番組中で会見を読み解きます。」とコメントしていた。このシーンに当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・ 鈴木知事が安倍首相に直接要望：結論→特に問題なし 鈴木知事の要望について以下に朱記したような VTR が取り上げられた。 鈴木直道（北海道知事）「日本で最もその患者が多い北海道においてやはりこの重点対策地域としてあらゆる施策を緊急かつ集中的に実施をしていただきたい。」 ナレ「一方、北海道で緊急事態を宣言し、外出自粛を呼びかけた鈴木知事が先程、安倍総理と会談し、北海道を重点対策地域として検査体制を強化することなどを求めました。」 このトピックに当てられた時間は 27 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・ トランプ政権の入国制限：結論→特に問題なし 膳場キャスターの「アメリカのトランプ大統領は新型コロナウイルスの感染拡大を受けた、入国禁止措置を中 		

国以外にも拡大するかどうか検討していて、近く判断すると明らかにしました。」とのコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

トランプ大統領「(入国禁止措置の拡大を) 感染者数の多いいくつかの国について検討していて、近く判断を下すつもりだ。」

ナレ「トランプ氏は 28 日、具体的な国名は挙げなかったものの感染者が多いいくつかの国について新たに入国禁止の対象とするかどうかを近く判断すると明らかにしました。アメリカはこれまで、14 日以内に中国に滞在していた外国人の入国を拒否する措置をとっています。また、国務省は感染者が増えているイタリアへの渡航警戒レベルを 4 段階のうち上から二番目の渡航の再検討に引き上げました。」

このトピックに当てられた時間は 56 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】新型コロナ：結論→特に問題なし

膳場「特集です。新型コロナウイルスに対する政府の対応について、安倍総理はこの後午後 6 時めどで記者会見を行います。」

金平「社会への影響が大きい小中高校への一斉休校要請などを、どう説明するのでしょうか。」

安倍首相「全国全ての小学校中学校、高等学校、特別支援学校について、来週 3 月 2 日から、春休みまで臨時休業を行うよう要請します。」

ナレ「おととい、夕方安倍総理が突如発表した全国一斉の休校要請。」

医者「あーん。」

ナレ「昨日都内の小児科クリニックに来た共働きの母親。子供が通う保育園からメールが届いたという。」

一歳の保育園児の母親「うちの子の保育園の方も、そういう中学生小学生を持っている、お母さんの保育士さんがいらっしゃって、あの、ちょっと、人員の方が少し減る可能性があるということで、在宅勤務が可能な方は、なるべく家で仕事をしながら、育児をしていただけませんかというメールが来まして」

膳場「もう早速、保育園からそういう連絡が来たんですか？」

母親「はい。」

ナレ「すでに在宅勤務をしているという、」

一歳の保育園児の母親「すでにリモートワークも推奨されていますし、今週いっぱいも既にしていたんですけども、まあちょっと在宅しながら育児って大変なんですよ。」

ナレ「このクリニックで働く医療スタッフも、対応に迫られている」

ナレ「7人いる職員のうち3人が、小学生や保育園児の子供がいる。」

小学4年生と保育園児の子がいる看護師「4年生なんで、家で一人でお留守番の方向で。」

膳場「じゃあ小学4年生のお子さんは何時から何時までお留守番になるでしょう？」

小学4年生と保育園児の子がいる看護師「8時から7時。」

膳場「夜の7時まで？」

小学4年生と保育園児の子がいる看護師「2週間前に毎日になるとちょっと・・・ですよ。やっぱり。急だからこちらでも色々手配が間に合わないの・・・」

ナレ「安倍総理が打ち出した一斉休校の要請について、森院長は・・・」

森こどもクリニック 森 蘭子院長「こういう本当にもう社会に大きな影響を与える政策決定は、休校したらどのくらい感染が、この山がピークが、どのくらい抑えられるのか、そういうことを検証した上で、こういうエビデンスがあります、こういうメリットがあるので、じゃあ、皆さんちょっと大変ですけども、負担は強い

けれども、お願いしますというような、そういったこう、納得した説明が欲しかったなあと思います。」

ナレ「一方、感染症の制御を専門とする賀来満夫特任教授は、こう話す」

賀教授「感染がこれから起こる時に、やっぱり休校ということは、効果的だと思うんですね。ただ一方で医療体制も含めて、そのシステムとして、弱いところにしわ寄せが行くので、ここをしっかりとサポートしていく。」

賀来教授「やっぱり感染症は個人の病気であって個人を超えて社会の病気、」

ナレ「感染が広がる新型コロナウイルス。今週検査難民が大きな問題となった。感染を疑われる人が検査を受けられないケースが相次いでいるというのだ。」

膳場「あっ声もかすれちゃってますね。」

女性「そうですねちょっとこんな声で申し訳ないんですけど」

ナレ「電話でのインタビューに応じてくれたのは、東京世田谷区に住む 20 代の女性。現在妊娠 7 ヶ月だ」

膳場「お腹の赤ちゃんの事も心配ですよ？」

女性「本当に胎動が変わらずあってくれるのだけが唯一の救いなんですけれども、万が一影響とかがあったらお腹の子に本当に申し訳ないとか、」

ナレ「女性は毎日、中国人観光客と接する販売の仕事をしていることもあり、PCR 検査を希望したが、断られたという。」

ナレ「いきさつはこうだ。今週月曜日に 37.5 度の発熱があり、祝日だったため翌朝近所の病院に向かった。まずインフルエンザの検査を受けたが・・・」

検査拒否された 20 代女性「インフルエンザの検査結果を待っている時に、インフル陽性であることを願ったのが人生で初めてで、インフルエンザが陰性で、より絶望的になりました。その病院の先生があのコロナの相談窓口、かけた方がいいって言ってくださって、」

ナレ「医師が世田谷区の帰国者接触者相談センターに問い合わせしてくれたという。国の基準では、妊婦は風邪の症状や 37.5° 以上の発熱などが二日以上続いたら相談しましょうとなっている。しかし・・・」

検査拒否された 20 代女性「先生がおっしゃるには肺炎の症状とは確実には言えないので検査はできないと断られた。」

ナレ「その後も体温は下がらず、その後自ら相談センターへ電話。翌水曜日にも 3 度目の電話をしたが、検査は認められなかった。」

検査拒否された 20 代女性「重症化するまで待ってということですか？という質問をしたんですけど、『風邪と同じようになるべくストレスがないように過ごしてください』って言われまして、ちょっとこの状況がストレスなんだけども思いました。」

ナレ「担当者にはこうも言われたという」

世田谷区の相談センター（女性のメモより）（吹替）「今の検査の環境で中国人と接している人全員に検査することはできません。」

ナレ「検査を実施する基準は何なのか。私たちは世田谷区に質問した。すると・・・」

世田谷区の回答（吹替）「国の事務連絡に示されている検査対象者の要件に準じて判断している。具体的には、37.5° 以上の発熱かつ、呼吸器症状を有し、入院を要する肺炎が疑われる者。」

ナレ「特に検査を積極的に検討している対象者として、妊婦や高齢者、基礎疾患がある人はあげている。にもかかわらず妊婦の女性は検査を断られたことになる。」

ナレ「女性が投稿した Twitter を見て動いたのが、世田谷区の桃野芳文区議だ。」

ナレ「感染症対策課長に問い合わせたところ、課長は検査を拒否していないと答えたという」

世田谷区桃野芳文区議「検査できませんという内容は説明はしていないと。ということを繰り返しその時もまあ話は聞きました。」

ナレ「この問い合わせの後、なぜか一転女性の検査が認められた。」

膳場「検査検査が受けられますよということを聞いた時、どう感じましたか？」

検査拒否された 20 代女性「検査をするからといって病気の状況が変わるわけではないんですけども、とりあえずすごい安心しました。はいちょっと泣きました。」

世田谷区桃野芳文区議「やっぱりできるって言う事なんですよね簡単に言えば。例えば医療資源がまだ余っているならという条件付きかもしれませんが、これはあの一しっかり本人の不安を取り除く意味で、検査に回すという判断も、今の状況を見れば、あり得る判断ではないかなと思います。」

ナレ「桃野区議によると、世田谷区の相談センターへの問い合わせは、1日 200 件を超える日もあるが、これまでに、PCR 検査を実施したのは、数件だという。女性は木曜日に自宅で検体を取られ、昨日新型コロナウイルス陰性だったことが分かった。」

検査拒否された 20 代女性「相談する基準に達しているから電話しているのに、検査の条件に達さないって言う風に言われると、じゃあ私の状況はこれは何なんだろうっていう。とにかく一刻も早く検査の体制を整えてほしいなっていう。」

VTR が取り上げられた後、スタジオで以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

膳場「はい。まもなく安倍総理の会見が始まります。会見場の様子こちらですけれども、準備ができて総理の到着を待っているところですね。さてここからは TBS の遊佐政治部長と、医療担当の解説委員小嶋修一記者と一緒に伝えていきます。まず遊佐さん。会見で注目すべきポイントはどこでしょうか」

遊佐政治部長「はいまずはですね、その感染者がいない県がある中で、なぜですね、全国一斉に休校を求めたのか。そして突然の発表、その理由ですよね。で、さらに行きますと、国民生活への影響。これは学校が休校になることによって、どうしても会社を休まなくてはいけないお父さんお母さんがいますよね。で保護者に対しての支援をどうするのか。そして感染をどこまで抑えられるのか。その見通し。で気になりますのは、7月から行われる東京オリンピックですけれども、予定通り行われるのかということですよ。」

膳場「はい、そうした点も注目しながら会見を見たいと思いますけれども、会見場は今どうなっていますでしょうか、総理到着したのでしょうか。まだのようでしたら、小嶋さん一言だけ、医学的な側面から見た注目点は何でしょうか。」

小嶋解説員「今、遊佐さんがおっしゃられた通りですね、今回、国民への説明義務、要するに全国一斉にですね、こういった国民に犠牲を強いるとということは、医学的に科学的にどういう問題があって、そういったことを国民にお願いするのかっていう、それがあって初めてできるんですけども、その点はその注目したいと思います。」

膳場「はい、今会見が始まる場所は一い。ご覧ください。」

スタジオでのやり取りを経て、記者会見のライブ中継が取り上げられた。

司会「ただいまより安倍内閣総理大臣による記者会見を始めます。はじめに総理から御発言があります。皆様からのご質問はその後にお受けいたします。それでは安倍総理お願いいたします。」

安倍総理「はい。新型コロナウイルスが、世界全体に広がりつつあります。中国での感染の広がりにつき、韓国やイタリアなどでも感染者が急増しています。我が国ではそこまでの拡大傾向にはないものの、連日感染者が確認される状況です。そして現状においては、感染の拡大のスピードを、抑制することは可能である。これが今週発表された専門家の皆さんの見解であります、そのためにはこれから 1、2 週間が急速な拡大にすすむか、収

束できるかの、瀬戸際となる。こうした専門家の皆さんの意見を踏まえれば、今からの2週間程度、国内の感染拡大を防止するため、あらゆる手を尽くすべきである。そのように判断いたしました。集団による感染を、いかに防ぐかが、極めて重要です。大規模感染のリスクを、回避するため、多数の方が集まるような、全国的なスポーツ、文化イベントについては、中止延期または、規模縮小などの対応を要請いたします。スポーツジムや、ピュッフェスタイルの会食で、感染の拡大が見られる事例がありました。換気が悪く密集した場所や、不特定多数の人が接触する恐れが高い場所、携帯での活動も当面控えているいただくとともに、事業者の方にはには感染防止のための十分な措置を求めたいと思いますそして、全国全ての小学校中学校、高等学校、特別支援学校については、来週月曜日から、春休みに入るまで、臨時休業を行うよう要請いたしました。子供達にとって3月は学年の最後。卒業前進学前の大切な時期です。学年を共に過ごした友達との思い出を作るこの時期に学校を休みとする。措置を講じるのは断腸の思いです。卒業式については感染防止のための措置を講じ、必要最小限の人数に限って開催するなど、万全の対応の元、実施していただきたいと考えています。学校が休みとなることで親御さんには、ご負担をおかけいたします。とりわけ小さなお子さんを、お持ちのご家庭の皆さんには本当に大変な、ご負担をおかけすることとなります。それでもなお何よりも、子どもたちの健康安全を第一に、多くの子ども達や教職員が日常的に、長時間集まるとして、同じ空間を共にする感染リスクに備えなければならない。どうかご理解をいただきますように、お願い致します。万が一にも学校において、子供達への集団感染のような事態を起こしてはならない。そうした思いのもとに、今回の急な対応に、全力を尽くして下さっている、自治体や教育現場の皆さんにも感謝申し上げます。企業の皆さんには、お子さんのおられる、従業員の方々への配慮をお願いいたします。特に日頃から人手不足に直面している、中小規模事業者の皆さん、関係者。介護や保育の、関係者の皆さんなどに、大変な負担をおかけいたします。その軽減に向けて、小さいお子さんをお預かりできるよう、出来る限りの対策を講じます。学童保育において、春休みと同様の対応をとることなど、各自治体における様々な取り組みを国として全力で支援する考えです。保護者の皆さんの休職に伴う所得の減少にも新しい、新しい助成金制度を創設することで正規非正規を問わず、しっかりと手当てして参ります。私が決断した以上私の責任において様々な課題に、万全の対応を取る決意であります。2700億円モコ L 今年度予備費を活用し、第2弾となる研究対応策を今後10日程度のうちに、速やかに、取りまとめます。新型コロナウイルスの感染が、世界的な広がりが見せる中で、工場の製造ラインを、維持できるのか。といった不安も拡大しています。業種に限ることなく、雇用調整助成金を活用し、特例的に1月まで遡って、支援を実施します。中小規模事業者の皆さんが、直面する課題についてその声を直接伺う仕組みを作り、強力な資金繰り支援を始め、地域経済に与える影響にしっかりと、対策を講じます。そしてこの機に感染防止の観点からも、テレワークなど it 技術を活用しながら、社会のあらゆる分野で、円滑対応を進め、未来を先取りする、変革を一気に進めます。各地の主要な、株式市場において、軒並み株価が大きく下落するなど、世界経済の動向も、十分に注視しながら、そのそのインパクトに見合うだけの、必要かつ十分な、経済財政政策を進めてまいります。これまでに国内で、新型コロナウイルス感染症を発症し、お亡くなりになったかたは、5名です。ダイヤモンドプリンセス号の、乗客の方からも、6名がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りするとともに、多くの国民の皆さんが、今回のウイルスについて、様々な不安をお持ちであると思います。このウイルスに感染しても、多くは軽症であるとともに、治癒する例も多い。これが専門家の皆さんの、評価です。その上で、季節性インフルエンザのよりも、入院期間が長くなる事例が報告されており、特に高齢者、基礎疾患を有する方については、重症化するリスクが高い、と考えられています。そのため政府としては、感染拡大の防止に引き継ぎ、全力を挙げる一方、重傷者の発生を最小限に食い止めるべく、盤石な検査体制、医療体制を構築していく考えであります。PCR検査については、国立感染症研究所における、対応に加え、先月ない全国にある地方衛生研究所、民間の検査機関、大学に対して、

試薬など検査キットを積極的に、提供し、その能力構築に努めてまいりました。その結果現時点で、全国で1日はあたり、4000件を超える検査能力があります。現在も地方にある、民間検査機関、大学に試薬などを提供し、一層の検査能力の拡大に努めてまいります。PCR検査については、国立感染症研究所における対応に加え先月内、全国にある、地方衛生研究所、民間の検査機関。大学に対して、試薬など検査キットを積極的に提供し、その能力構築に努めてまいりました。その現時点で、一日あたり、4000件を超える検査能力があります。現在も地方にある民間検査機関。大学に試薬などを提供し、一層の検査能力の拡大に、努めてまいります。PCR検査については、検査がしたくても保険所で断られ、やってもらえないという、ご指摘をたくさん頂いております。保険所は都道府県や、政令市の組織ですが、政府としていつの判断において、感染を疑う場合には、検査を行うようこれまでも繰り返し、依頼を行ってきたところです。またその地域の検査能力に限界があるために、断られるといったことが、断じてないように、広域流通によって必要な検査が各地域で確実に、実施できるよう、国において仲介を行います。来週中にPCR検査に医療保険を適用いたします。これにより保険証を経由することなく、民間の検査機関に、直接検査依頼を行うことが可能となります。民間検査機関の検査能力も、大幅に増強されます。加えて現在、検査の中で2、3時間を擁しているウイルスを検出するための作業を、15分程度に短縮できる新しい簡易検査機器の開発を進めています。この一か月間試薬の開発、精度向上などに取り組んできたところであり、3月中の利用開始を目指します。こうした取り組みを総動員することで、かかりつけ医など身近にいる、お医者さんが必要と考える場合には、全ての患者の皆さんがPCR検査を受けることができる十分な検査能力を確保いたします。重症者予防の観点からは、治療のために必要な病床の確保も重要です。全国で2000を超える感染症病床がありますが、緊急時には感染症指定機関の病床を、最大限動員し、5000床を超える了承を確保いたします。病院への支援を行い、現時点で開いているベットを全て、維持してもらうことで、患者が大幅に増加する事態にも、万全の医療提供体制を、整えます。今回のウイルスには、現時点で、インフルエンザのように、有効性が確認された、治療薬がない。この点が、世界的な不安の最大の原因と、なっています。そのため現在、我が国ではいわゆる、アビガンを含む三つの薬について、新型コロナウイルスに有効性があるかどうかを、見極めるため、観察研究としたのを、患者への投与すでに、スタートしています。何も新型コロナウイルスを用いた基礎研究ではすでに、一定の有効性が認められていることから、実際の患者の皆さんにその同意を得て、使用することで、治療薬の早期開発に、つなげて参ります。危機にあっては常に、最悪の事態を想定し、あらかじめ備えることが、重要です。北海道では、鈴木知事が緊急事態宣言を発出し、この週末、外出を控えるよう、道民への呼びかけを行っております。国も雇用調整助成金の、特例を設け、地域の方も含めて、休業となる方々への支援をしっかりと行なって参ります。必要となる物資の提供などあらゆる協力を、惜しまない考えであります。さらに今後一定の地域において、急激な感染の拡大などが、見られた場合に、どのような措置をとるか、その具体化はもはや待ったなしです。」

会見の途中でVTRが中断しスタジオで以下に朱記したやり取りが繰り返された。

膳場「はいえ一会見の途中ですけども、ここまででだいぶあの、内容は明らかになってきたと思います。改めて遊佐さん、会見の要点をまとめてください。」

遊佐部長「そうですね。あの休校を求めたわけですけども、子どもたちの安全健康を第一に、多くの子供が長時間集まる感染リスクに、備えなくてはいけないということを、必要性を訴えたわけですね。でお父さんお母さんに対する配慮なんですけども、新しいのは学童保育、学童保育については、と同じ規模で実施すると、で学校が休校になって会社を休まなくてはいけないお父さんやお母さんがいますから、その休業保証につきましては、所得の減少につきましても、助成金を利用して、正規非正規を問わず、カバーするといった話も飛び出しております。そしてやはり関心があったところはですね、あの陰性と陽性を検査するPCR検査なんですけども、安

倍総理の方は1日4000件能力があるということを説明いたしまして、全ての患者がPCR検査をできるよう、その能力を確保するという形で強調しておりましたね。」

日下部「そうですね。断られることは絶対ないよと。」

遊佐「そうですね」

膳場「希望者全員が検査可能ということですね」

日下部「そうですね国によって仲介するとまで言っていましたね。ぜひ守っていただきたいところでもありますけども、非常にこの、土曜日の、異例の会見。それで一体な一番何を訴えたかったんでしょうか」

遊佐氏「そうですねこれまで、やっぱり後手後手だという批判が付きまどってききましたから、今回は、土曜日という異例の会見ですけども、先手を打った、そして前広に、そして大胆に、決定したんだということをですね、あの強調する。アピールする狙いがあったというように思いますね。」

金平「遊佐さんね、これ今日こうこの会見に至るまでに、えー政権の、政府の内部でですね、首相独断、まあ内閣総理大臣としての、責任というのを、非常に前に出して強調してますけども、他の人とか調整しながらですね、例えば、萩生田文科大臣とかですね、あるいは菅官房長官なんかと、すり合わせてやったということでは、ないような、なんか印象を受けたんだけども」

遊佐氏「そうですね、僕の取材でも、実は政府与党の中で、事前に充分議論があったってということは、形跡はなくてですね、取材を進めていくとやはり、総理と総理に近いところで、決めたというのはどうやら実情のようなんですよね。まあそうしますと、総理自身が決めたということになりますと、今回の決定が、もし成功しなかった場合ですね、これ総理自身に、批判が直結するという、まあ極めてリスクがあるという決定だと思いますね。」

金平「あとその立法措置について行ってましたですね、あらゆる可能性を想定して、早期に早急に立法措置を講じるみたいな形になるともう、自分が引っ張ってって、国会も、動かして、立法措置をとった上でしかも、検査体制も、民間の力を、借りながらっていうようなことを、すごい強調してましたけれども、これ今までの批判をこう、全部こう、集約したような形で、全部も取り入れてやるんだよと、しかも自分の責任においてということ非常に強調してたような気がするんですけども、」

遊佐氏「まさにこの今回は自分の決定なんだと、やっぱりリスクも負うんだというところを強調してましたよね。」

膳場「あの医療担当委員の小島さんに聞きたいと思うんですけども、ここまでは一斉休校措置についての根拠などは示しませんでしたけれども、この土地自体はどう評価しますか？」

小嶋氏「全体的にあの、一般論に終始しているようだという印象は、拭えません。で、あの一、一番あの一 全国一斉にあるんだという根拠をですね、国民は知りたいと思うんですけども、これについては一切触れてなかったということですね。これはあのやはりあの、民主主義のプロセスからしても、やはり国民に納得を、納得してもらった上で、全国一律のその、犠牲を強いると。その事について何も、説明がなかったってことはちょっと、これは大きな問題なのかなと思います。それから後、PCR検査のことが、述べられていましたけれども、実際にこの大きな物を動かす、ときには、やはりあの、指揮官が必要だと思うんですね。コマンダーが。でそういうのがいるのかって言うといない。で、で実際PCRの検査をしているところに行くんですけども、みんなあの指示待ちなんですよ。で、もうスタンバイをしていて、いつでもできますよと、いうところがですね、実はもったいないっていうか、機能してないんですよ。ですから、能力、数を増やしただけではだめです。でそこところはしっかりと指揮官を置くっていうところをですね、しっかり考えなくちゃいけないんじゃないかなと、思いました。」

膳場貴子「お知らせのあとも新型コロナウイルスの問題についてお伝えしてまいります。」

このやり取りのあと、CMを挟んで、膳場キャスターの「実際に重症の患者をみた医師はどう感じたのか、また、最も危惧される、医療崩壊を防ぐために何ができるかご覧ください。」とのコメントを受けて、いかに朱記したような特集のVTRが取り上げられた。

"医師「この病気はとても診断は難しいと思います。普通に、診断をすることは極めて困難と。」

ナレ「こう語るのは新型コロナウイルス患者の治療にあたっている関東地方の病院の医師だ。クルーズ船の乗客を含め、軽症から重症まで複数の患者を見てきた。」

医師「お年を召した方はお腹がゆるくなる方もいるし、非常に体がだるいというふうな症状を訴える方もおられると思います。」

膳場貴子「症状からだとわかりにくい、」

医師「はい、わかりにくいと思います。まあ特徴的な所見は症状はない、と。」

膳場貴子「悪くなっていく方というのは徐々に悪くなっていくのか、急速に悪くなっていくのか。」

医師「徐々にですね。数日で熱が出ていって、重症化するというのは比較的遅いと、時間がかかりますね、やっぱり一週間二週間立ってから段々と悪くなるというケースがまれにある。」

ナレ「抗ウイルス薬がない現状では治療法は限られているという。」

医師「基本的に酸素が下がったら酸素を投与する。まあお食事が取れなかったら点滴をして水分を補う、と。もちろん人工呼吸器が必要であれば人工呼吸器、まあそれ以上の呼吸の重症管理ということはするにしても根本的な抗ウイルス薬の治療をしているわけではないので。」

膳場貴子「これまで見ていらした患者さんというのはどうなのでしょう、ほとんどの方は回復しているのでしょうか。」

医師「まあ現時点では、基幹病院ではやっぱり重症の方がお見えになっていらっしゃると思いますので、まあそういう意味ではそういうところには少しやっぱり具合の悪い方っていると思いますけれども、やっぱり軽症の方はすごい喜んで退院していただいている方もおられます、もうやっと帰れると。」"

"ナレ「検査や医療体制についてはこう指摘する」

医師「検査のキャパシティというのも今非常に難しくなっていると思います。結果が当日出ているものが少しずつ時間がずれていっています。だからそういう意味では本当は肺炎の人でちゃんと診断をしないといけない方のためにやっぱりきちんとした検査ができていなくなる可能性がここ数日ですごい増えていくと思います。疑いがちょっとあるからもう全部大きな病院という大きな病院がもちろん破綻をさせていただきますので、そこをやっぱり地域で考えていくということはぜひお願いしたいなと思います。」"

"ナレ「新型コロナウイルスのアウトブレイク、感染爆発が日本で起きたら。」

植村幹二郎（うえむら小児科内科クリニック院長）「医療崩壊ですね、多分、そのときはね。」

ナレ「こう語るのは兵庫県淡路島の小児科クリニックの院長だ。クリニックなど地域での地道な活動には感染をこれ以上拡大させない役割が期待されている。」

植村幹二郎「家の中にコロナウイルスが入ってくるとちょっとややこしくなるからな、皆さん気をつけてね。うがい、手洗い、アルコールですぐ死ぬらしいからね。」

ナレ「植村院長が最も恐れているのは院内感染だが。」

植村幹二郎「今まで通り、私どもは粛々とこの発熱外来を使ってこの病気と対峙する。」

ナレ「このクリニックでは発熱を訴える患者を他の患者と隔離して診療している、これが発熱外来だ。患者がインターフォンで名前を告げると一般外来の入り口から離れたところにあるもう一つの入口から入るよう指示される。ドアを開け、手を消毒。ここでは、患者が医師のもとに行くのではなく医師が患者の待診室を訪れる、

患者をひとり見るたびに医師はアルコールで手を丁寧に消毒する。」

植村幹二郎「この一角は赤の部屋、紀伊色の部屋、緑の部屋と3つ部屋があります、そしてここが共通のトイレです。」

ナレ「トイレも一般外来とは別だ。3つの部屋の打ち、重症度のより高い人が入るのが赤の診察室だ。ウィルスが診察室から外へもれないように強力な換気扇とエアカーテンが設置されている。患者同士がすれ違わないように事務室のモニターで常時チェックする。」

"看護師「患者さんが出た入ったりしている姿を見て、出られたのを確認して、他の患者さんを案内するようにしています。」

ナレ「治療費の支払いもこの診察室内で行われる徹底ぶりだ。一般外来でも院内感染を予防しようという工夫がなされている、通常使われるのは第一診察室だが、乳幼児や免疫力が落ちている患者は隔離され別の3つの部屋のいずれかで診察を受ける。」

植村幹二郎「はしかが流行したときも、新型インフルのときも院内感染ゼロだし。」

ナレ「このクリニックは急病患者以外、一般外来も発熱外来も、電話やメールによる完全予約制、来院時間は5分単位で決められ待合室などで患者同士が接触するのを防いでいる。そこで大きな役割を担うのが、医師らをサポートする事務職、医療クラークだ。ここでは、医療クラークが患者を一般外来か発熱外来かにわけ、来院時間や診察室なども適切に割り振る。」

植村幹二郎「個室に入っていただくでしょ、そしたらね、私の子供は周りに移る病気の疑いがあるんだなっていう意識をお母さんが持たられるんですわ。今まで20何年間このようなね、発熱の患者さんを中心に隔離のこういうシステムを使って色々やってきたということなだけなんだけど、別にあの新型のそのコロナウィルスの感染症であっても変わりなく同じようにやっていただけたらいいのではないかと。」

"ナレ「世界中で感染が拡大する新型コロナウイルス、東アジア以外でもイタリアなどヨーロッパ、イランなど中東、更にはブラジルなど南米にも広がっている。」

日下部正樹「なんかいつもと空港の様子が違うね。」

ナレ「今週取材で台湾に入った日下部キャスターは。」

日下部「ええ台湾に入るためには入国カードとともにこのような紙ですね、入境健康声明カードとありますけれども、ここではですね過去二週間以内に熱やせきがあったか、あるいは中国香港マカオに行ったことがあるかということをお問われてですね、更にはですね台湾に入った者はですね14日間、公の場所に出る際にはマスクを必ず着用すると、そうしない場合にはですね最高で60万円の罰金を課せられるという非常に厳しいものですね。」

ナレ「新北市内の原発を取材する際も、」

日下部「ええじゃあ入り口入ります。ええここで受付ですね、まああのコロナウィルス対策で体温をひとりひとり測っている。35.7度、大丈夫みたいですね。」

ナレ「ホテルやオフィスでも検温とアルコール消毒が自主的に行われている。テレビカメラに緊張したのかこんな一幕も。」

スタッフ「体温計と間違えて消毒液を。」

ナレ「台湾ではさらに全ての小中等高等学校の冬休みが二週間延長される措置が取られた、これに伴い12歳以下の子供を伴う夫婦のいずれか1人に冬休みの間の臨時休暇の取得を認めた。休暇申請があった場合には雇用主はそれを拒否できないという。蔡英文政権はいち早く中国本土からの渡航政権をかけた、さらにマスクの流通管理や健康保険カードによる渡航歴の管理など次々と対策を打ち出し、支持率が上がっている。」

VTRを受けて、スタジオではいかに朱記したようなやり取りが繰り返された。

"日下部正樹「ええ私、昨夜台湾から帰ったんですけども、なんかこう安倍さんの先程のですね会見を聞いていると台湾の周回遅れという感じですよ。」

膳場貴子「なんか今の VTR を見てもそんな感じでしたよね。」

日下部正樹「あの、そもそもですね蔡英文總統がですね国民に向けて、人々に向けてですね考えている対コロナウィルス対策を発表したのはもう 1 月なんですよ。」

膳場貴子「それはもうめっちゃはやい。」

日下部正樹「更に立法措置についてもですねすでに与野党の合意の上に議会を通過して、總統がこうサインをしてスピード発効している、そういう事も含めてどうもこう周回遅れという、もっと早くできたんじゃないかなっていう印象、台湾を見たから余計感じましたね。ぜひ安倍総理にはですね、先程発表した内容、実行に移してほしいですね。」

膳場貴子「そうですね。あとあのね、混乱している時期だからこそ、冷静に行動したいんですよ。まあそれが限りある医療資源を守って多くの人の健康につながるから、それなのに木曜よる学校の一斉休校発表しましたよね。これ、あまりにも発表が直前過ぎてその当時なんの説明もなかったから仕事を持つ親たちというのは週明けまでの極めて短い期間で育児体制を再構築しないといけないし、子供の学習環境を整えなければいけないし混乱せざるを得なかったと思うんですよ、国民が合理的で冷静な行動を取るためにもリーダーである人には思慮深い丁寧な情報発信を速やかにしてもらわなければいけないなど、痛感しましたね。」

金平茂紀「なんかね、さっきの会見を聞いてね、後手後手だっていう批判に対していかにも先手を打ったというそういう印象を受けたんですけども私があれを見て思ったのは目的は手段を正当化しないってことですよ、民主主義的な手続きというのは国民の合意というものを元にしてああいふ強権発動をするわけですから、それがあの国民の納得を得られなかった場合はですね、あとから非常に強い批判を甘んじて受けなければいけないというふうに思いましたね。」

また番組の終盤で膳場キャスターの「さて、安倍総理は先程の記者会見で、新型コロナウイルスで小中学校、高校などに臨時休校を要請したことに関連し、保護者らが給食する際の休業補償として新たな助成金を創設する考えを明らかにしました。」とのコメントを受けて、会見がいかにも朱記したように取り上げられていた。

安倍総理「保護者の皆さんの休職に伴う所得の現象にも新しい助成金制度を創設することで正規、非正規を問わず、しっかりと手当してまいります。私が、決断した以上、私の責任において、様々な課題に万全の対応を取る決意であります。」

ナレ「また安倍総理は今年度予算の予備費およそ 2700 億円を活用し第二弾の緊急対策を今後 10 日程度で取りまとめると表明しました。」

安倍総理「十分な説明がなかった、与党も含めてですね、それはたしかにそのとおりなのでありますが、しかしそれは責任ある立場として判断をしなければならなかった。」

ナレ「一方、十分な説明がなく突然臨時休校を要請したことで教育現場や過程などで混乱がみられたことについてこのように述べ、理解を求めました。」

この特集に当てられた時間は 2976 秒だった。

せっかくの会見の映像を途中で打ち切ってしまった点は残念であったが、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特に問題なし

検証者所感

・【特集】 新型コロナ

スタジオでは台湾の対応に比べて日本は周回遅れと評されていたが、実際に中国との距離に近い台湾に比べて、日本では1月あたりはまだどこか対岸の火事ということもあり、国会でも桜を見る会だとか河井夫妻の話だとかIRの話ばかりが取り上げられているように報じられていたのだから、その分、周回遅れになるのは仕方ないのではないだろうか。それは、立法府の問題もあるだろう。しかし、野党議員もメディアに拾ってもらえるようなトピックを選んで取り上げているとすれば、連日桜を見る会などを報じる一方で、コロナウイルスに対する国会の動きなどをあまり伝えてこなかったメディアにも責任の一端があったのではないだろうか。そうしたことへの自省もなしに台湾の対応を評価し、日本の対応を周回遅れと評すのはいかがなものだろうか。

また、台湾の打ち出しているマスクの流通管理や健康保険カードによる渡航歴の管理という対策は公権力による個人情報の管理を前提としているし、それは容易に国民生活の監視に転じ得る危険性もはらんでいるが、そうしたリスクを犯してまで、コロナ対策を行うべきなのか、ということについては少しは考えてもいいのではないだろうか。まして、行政の信用の失墜が囁かれている昨今の状況を見るに、公権力にそうしたツールを与えることの危険性というのは決して過小評価してはならないだろう。